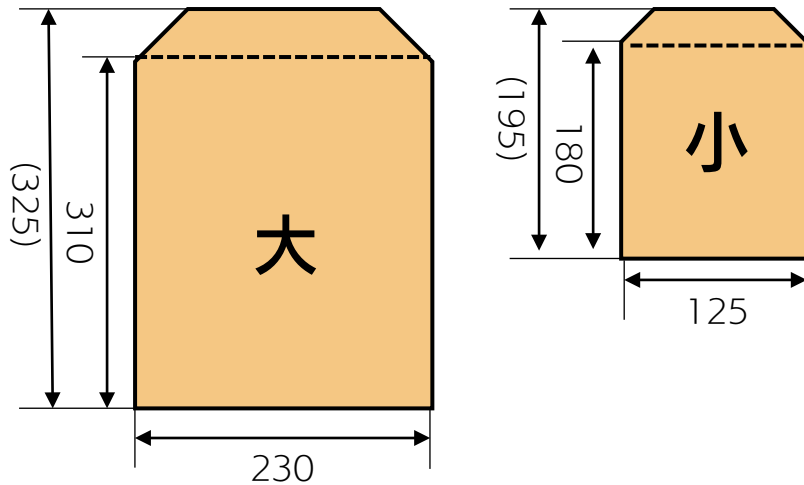


# 本屋さんの紙袋を作ってみよう(1)



## 1 袋の大きさを確認しよう



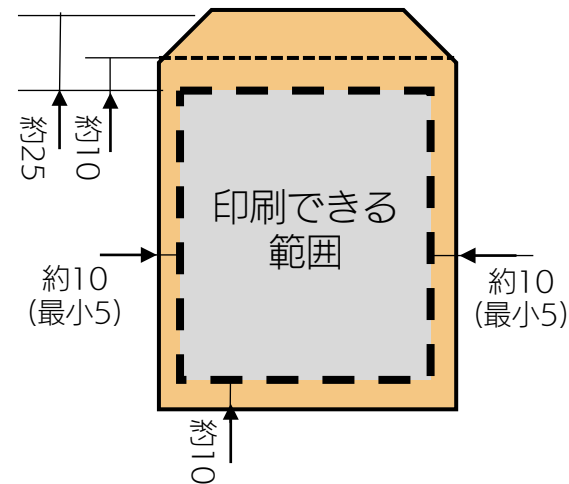
呼び寸法はフラップを含めない大きさを、mmで表します。

(原稿はフラップ込みの大きさで作ります。)

大：「未晒クラフト紙袋 230X310」

小：「未晒クラフト紙袋 125X180」

## 2 印刷範囲を意識しよう

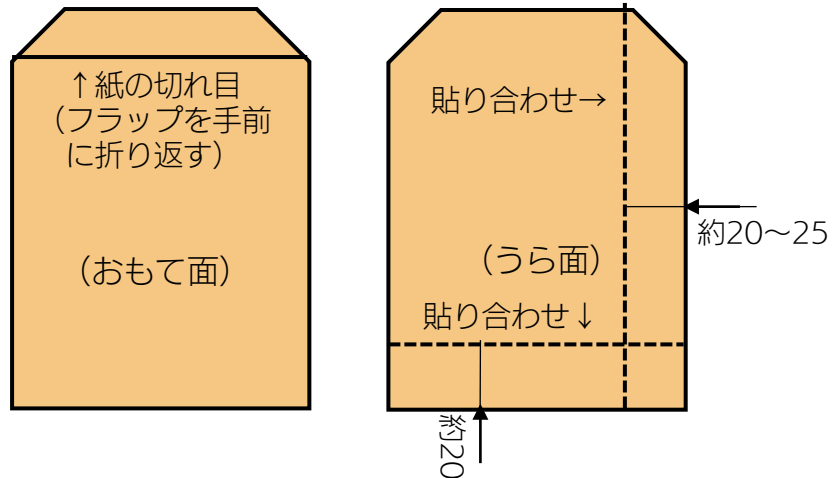


- 袋の端から10mm程度は空けておきます。(あまり端に近い部分に印刷すると、汚れることがあります。)
- フラップの部分は通常は印刷しません。

# 本屋さんの紙袋を作ってみよう(2)



## 3 貼り合わせにも留意しよう



- 普通は上図「おもて面」に印刷します。
- フラップは普通の封筒とは逆の面にあります。
- 紙の切れ目付近に印刷してしまうと、内容物を出し入れするときに汚れることがあるため、印刷しません。フラップにも通常は印刷しません。
- うら面に印刷する場合、貼り合わせに重なるように印刷すると、インキのにじみや汚れの原因になることがあります。(程度の問題ですが、お客さまがそれでよければ印刷はできます。)

## 4 原稿を作ろう

- 「2. 印刷範囲を意識しよう」を参考に、原稿(データ)を作ります。
- ページサイズはフラップを含む大きさを作ります。(ただしフラップと境目付近には印刷しません。)
- 上はフラップ込みで25mm程度、下と左右は10mm程度空けるようにします。

(ページサイズ)

紙袋(大)・・・230X325

紙袋(小)・・・195X125

※周囲を空けていただくため、塗り足しも不要です。

- 印刷方式は孔版印刷です。
- 印刷の色にかかわらず、原稿は黒1色で作ります。

# 本屋さんの紙袋を作ってみよう(3)



## 5 注文をしよう

- 紙袋も当社での分類は「ペーパー」です。
- 入稿の方法などは、EditNetプリンテックのwebページをご覧ください。
- 料金の計算はe窓を使えます。
  
- 本のセットプランと同時に入稿・納品する場合、送料がかかりません。本と一緒に注文がお得です。
  
- 複数のペーパーを同時に入稿・納品する場合、送料は1回分です。
- 紙やインキ、枚数などの仕様がすべて同じで、原稿だけ差し替えて複数の印刷物を作る場合、割引があります。

## 6 その他全般的な注意点

- 紙が薄いため、ベタなどインキの量の多い印刷は、しわや汚れの原因になることがあります。
- 普通の紙に比べて位置ずれなどが起こりやすいです。
- 端が多少折れたり、しわが寄ったりすることもあります。（仕入れの段階で多少生じていることもあります。材料の性質上多少は生じるものとお考えください。）
- 寸法は多少の誤差があります。
- 袋の仕様が変更になることがあります。
- 紙も印刷方式も、精細な仕上がりを期待する場合には不向きです。ご了承の上ご利用ください。